

ASOCIO ICT サミット 2013, Software Expo 2013 を バンコクで開催

2013年9月26日、ソフトウェアを専門に取り扱う展示会である Software Expo Asia 2013 と併催の形で、ASOCIO ICT サミット 2013 が、タイ・バンコクのクイーンシリキット国立コンベンションセンターで開催された。

また 27 日には、Software Expo Asia のカンファレンスと並行する形で、日経 BP 社主催のアジア ICT カンファレンス in バンコクも開催された。

ASOCIO ICT サミットには、タイ国内から約 250 人、日本、東南アジア各国から 250 名の計 500 名が参加した。うち、日本からは展示ブース運営にあたった方も含め 50 名以上が参加し、内外の注目を集めていた。日経 BP カンファレンスには、タイ進出の日系企業などから約 200 名、展示会 Software Expo への来場者は 3 日間で 1 万人程度だった。

ASOCIO サミットでは、まず Abdul Kafi (バングラデシュ) ASOCIO 会長、タイ ICT 協会(ATCI)の Adirake Patitus 会長、タイソフトウェア産業振興庁(SIPA)チェアマン Supachai Tangwongsan 博士による開会挨拶が行われた。その後、同国 ICT 産業の発展に貢献しているとの理由で、ナコーンサップ タイ ICT 大臣への ASOCIO IT Award 授賞式と大臣による記念講演が行われた。大臣は、教育への IT 利用に力を入れることによってリテラシー向上や IT 利用基盤の確立に力を入れていることなどを紹介した。

続いて、インド Infosys 社の Narayana Murthy 名誉会長が、自社創設とワールドクラスのベンダーに成長するまでの経験をもとに「アジアの IT の未来」について、世界の中心になっていく可能性があることを示した。

次にハーバード大学経営大学院・竹内弘高教授による「Unite Asia Innovation for Sustainable Development – アジアイノベーション連合 – 持続的発展のために」とする基調講演が行われた、日本の「おもてなし」精神や、微笑の国タイなどを例にアジアの共通的美徳、タイでの IT を教育に活用している様子などを紹介しながら、経済の発展可能性の条件について語られ、好評だった。

午後には、「イノベーションと新たな機会」「起こりつつあるアジア的創造性の波」というテーマに基づき、2 つのパネルディスカッションが行われた。後者のパネルディスカッションには大須賀正之 JISA グローバルビジネス部会長((株)CAC 常勤監査役)が参加した。大須賀氏は、午前中の竹内教授の基調講演で準備していた内容をだいぶ紹介されてしまったといいながらも、エンドユーザー、コンシューマー視点からどのように IT をつかって創造性が発揮されていくかについて意見をのべ、他のパネリストよりも際だっていた。

翌日は、Software Expo Asia と一体化した講演、ビジネスマッチング、日経カンファレンスが閉講して開催され、日本からの参加者はそれぞれ関心のあるセッションに出席した。

日経セミナーでは、富士通ビジネス(タイ)の國丸昌之社長、チュラロンコン大学の藤岡資正氏、NTT データ岩本敏男代表取締役社長らの講演が行われた。藤岡氏の講演では、新興国には先進国と違って統計上現れてこない「グレー」な経済があって、それを加味すればバンコク経済圏は、

先進国経済とまったく遜色ないこと、タイはカンボジア、ミャンマー、ラオスなどと地続きであり、島が独立しているインドネシアとは経済の広がりや発展可能性を別次元で捉えていく必要があることが紹介されていた。

なお、26日夜に開かれたガラディナーでは、ASOCIO 設立 30 周年を記念して、ASOCIO 活動への功労者表彰が行われ、JISA 浜口会長、JISA 五十嵐副会長・国際委員長が個人表彰を受け、また JISA 全体に対しても感謝の意を表す形で表彰が行われ、河野副会長・専務理事が記念トロフィーを受賞した。

27日夜には、ASOCIO 参加者のためのフェアウェル・ディナークルーズが行われ、懇親を深めあい、終了となった。

展示会については初回ということもあり、主催者側が円滑な準備が出来ていないことがあったことに加え、ビジターの数が期待ほどではなかったこと、展示する内容がシンプルで分かりやすいものにする必要があるなど、新興国市場の特徴を理解することの必要性が感じられた。わからないことにチャレンジしたという意味では「一歩前進」という評価もできるといえる。

(山本)